平成23年２月９日

各　　位

会 社 名　藤　久　株式会社
FUJIKYU　CORPORATION
代表者名　代表取締役社長　後藤　薫徳
（コード：９９６６　東証第二部・名証第二部）
問合せ先　取締役総務部長兼経営企画室長 佐藤　哲雄
（ＴＥＬ　０５２－７７４－１１８１代表）

平成23年６月期 第２四半期業績予想との差異及び通期業績予想の修正に関するお知らせ

平成23年６月期第２四半期累計期間（平成22年７月１日～平成22年12月31日）の業績予想について、平成22年11月10日に公表いたしました業績予想との差異及び通期業績予想の修正についてお知らせいたします。

（金額単位：百万円）

平成23年６月期第２四半期累計期間業績予想数値との差異（平成22年７月１日～平成22年12月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	１株当たり四半期純利益
前回発表予想（Ａ）	11,150	341	396	△94	△22円49銭
今 回 実 績 （Ｂ）	10,482	167	235	△43	△10円38銭
増 減 額（Ｂ－Ａ）	△668	△174	△161	51	―
増　減　率（％）	△6.0	△51.0	△40.7	―	―
（ご参考）前期第２四半期実績（平成22年６月期第２四半期）	10,568	206	271	△84	△20円04銭

平成23年６月期通期業績予想数値の修正（平成22年７月１日～平成23年６月30日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	１株当たり当期純利益
前回発表予想（Ａ）	23,092	1,243	1,353	343	81円57銭
今回修正予想（Ｂ）	22,182	977	1,099	187	44円64銭
増 減 額（Ｂ－Ａ）	△910	△266	△254	△156	―
増　減　率（％）	△3.9	△21.4	△18.8	△45.5	―
（ご参考）前期実績（平成22年６月期）	21,904	973	1,112	277	65円94銭

修正等の理由

１．第２四半期累計期間

当第２四半期累計期間は、店舗内ソーイングスクールの開講について計画どおり実施、商品部門のうち生活雑貨は計画を上回る売上高を達成、粗利率については目標を1.0ポイント上回るとともに、販売管理費は計画比98.0％と削減を推進しましたものの、全業態既存店売上高について第１四半期７月度が前年同月比6.7％減、第２四半期10月度が6.6％減となり、さらに売上構成比の高い商品部門の手芸用品、生地及び和洋裁服飾品の売上高が計画を下回りましたことなどから、営業利益、経常利益ともに計画を下回る結果となりました。なお、営業店舗に係る土地及び建物について、特別損失に見込んでおりました減損損失１億60百万円は、当該店舗の業績が回復していることから計上を回避することができましたため、四半期純損失は縮小しました。

２．通期

下期につきましても、引き続き厳しい経営環境が続くものと予想されます。当社におきましては、下期計画について４店舗上回る11店舗を新規出店するほか、販売管理費の抑制に努めますものの、第２四半期累計期間の業績を踏まえ、通期の業績予想を修正するものであります。なお、第２四半期会計期間において計上を回避しました減損損失は、第４四半期会計期間に計上を見込んでおります。

（注）上記の予想につきましては、現時点で入手可能な情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

以　上